

母校やゆかりのある小学校へ、あなたに代わって本を寄贈 第20回「みつばち文庫」寄贈先小学校の募集を開始 応募締切：2018年1月9日（火）必着

株式会社 山田養蜂場(本社：岡山県苫田郡鏡野町 代表：山田英生)は、第20回「みつばち文庫」の寄贈先小学校の募集を開始しています。

「みつばち文庫」は、子供たちの豊かな心の育成を目指し、「自然環境の大切さ」「人ととのつながり」「命の大切さ」をテーマとした書籍を選定し、全国の小学校へ寄贈しているものです。1999年から2017年までの**19年間で、計5万7,628校、64万9,902冊**の書籍を寄贈してまいりました。

20年目を迎える本年も、2018年1月9日必着にて寄贈小学校を全国より募集いたします。ご応募いただいた中から抽選により寄贈先として選ばれた小学校へは、応募者の直筆メッセージカードを添えて、書籍セットを寄贈いたします。

社会背景と本活動

文部科学省の平成28年度「学校図書館の現状に関する調査（平成28年10月13日発表）」によると、平成27年度末時点での小学校の図書標準達成学校数の割合は約7割に留まり、約3割強の小学校の図書館に本が足りていない、という現状が明らかになりました。また、別の調査（※1）では、小学生の暴力行為やいじめの発生は、年々増加しており昨年は過去最高の件数でした。

弊社では、この現状を喫緊の社会課題と捉え、「みつばち文庫」の重要性を再認識しています。本活動は、子供たちに読書を通じて豊かな心を育んでほしいという願いを込めて長年続けてまいりました。

本活動にご賛同いただき、多くの方々からのご応募をお待ちしています。

（※1）文部科学省初等中等教育局児童生徒課公表（公表日：平成29年10月26日）平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（速報値）

募集要項

【応募方法】

●ハガキ・FAXでの応募

<応募締切：2018年1月9日（火）必着>

- ①氏名（ふりがな） ②郵便番号 ③住所 ④電話番号
- ⑤職業（学生の場合は学年） ⑥年齢 ⑦メールアドレス
- ⑧寄贈したい小学校の校名、郵便番号、住所、電話番号
- ⑨寄贈したい理由や思い を明記の上、

〒532-0011

大阪府大阪市淀川区西中島3-11-26Aurora新大阪ビル2F

「みつばち文庫」事務局（TMS内）（貴紙誌名）係宛
FAX：06-6306-0290

●WEBからの応募：「みつばち文庫」で検索

<http://beekeeper.3838.com/activity/bunko/>



▲第20回「みつばち文庫」の寄贈書籍

◇本件に関するお問い合わせ◇

株式会社山田養蜂場 文化広報室 関 (ts0975@yamada-bee.com)、秦 (kh1967@yamada-bee.com)

〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194 TEL : 0868-54-1906 FAX : 0868-54-3346

第20回「みつばち文庫」寄贈書籍一覧 1セット8冊(12,528円相当)

	タイトル	著者	出版社	価格 (税込)
1	はちみつ	ふじわら ゆみこ/文 いせ ひでこ/絵	株式会社 福音館書店	¥ 972
2	共生する生き物たち アブラムシからワニ、サンゴまで	鷺谷 いづみ/監修	株式会社 PHP研究所	¥ 3,240
3	100年後の水を守る ～水ジャーナリストの20年～	橋本 淳司/著	文研出版	¥ 1,512
4	はたらく	長倉 洋海/著	株式会社 アリス館	¥ 1,512
5	続・10歳の質問箱 なやみちゃん、絶対絶命！	日本ペンクラブ 子どもの本委員会/編 鈴木 のりたけ/絵	株式会社 小学館	¥ 1,404
6	おならくらげ	ささき あり/作 ザ・キャビンカンパニー/絵	株式会社 フレーベル館	¥ 1,080
7	おじいちゃんの ごくらく ごくらく	西本 鶴介/作 長谷川 義史/絵	鈴木出版株式会社	¥ 1,404
8	菌ちゃん野菜をつくろうよ！	あんず ゆき/著	株式会社 佼成出版社	¥ 1,404

詳しくは当社のWEBサイトをご覧ください。
各書籍の表紙や、過去の「みつばち文庫」をご覧いただけます。

みつばち文庫

検索



＜子供たちからの喜びの声＞

- ・本をおくってください、ありがとうございます。おもしろい本や読みごたえのある本が多いので、1冊1冊手にとって読むのが楽しいです！
- ・本をありがとうございました！1年生から6年生までたのしめる本で、ぼくもぜんぶの本をよむのがたのしみです！

＜小学校の先生からの喜びの声＞

- ・みつばち文庫を通して、子供たちは自然環境や命の大切さなどを学び、考え、健やかに成長しています。
- ・蔵書冊数が少ないので大変助かります。大事によませていただきます！

▲届けた本を手にする子供たち